

人文科学研究科 人間科学専攻 心理学分野 博士学位論文審査基準

- 1 研究テーマの設定が適切になされている。
- 2 研究テーマの追求にふさわしい方法論が設定されている。
- 3 先行研究が十分にふまえられている。
- 4 論証・実証が十分にされている。
- 5 当該分野の学術研究の発展に貢献する、独創性を備えた研究である。
- 6 研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して、適切な倫理的配慮がなされていること。（データ改竄、捏造、剽窃などの研究不正を行っていないこと）。

人文科学研究科 人間科学専攻 心理学分野 博士学位授与プロセス

1. あらかじめ定められた期限までに博士論文作成計画書を提出し、提出予備資格を取得する。予備資格を取得するためには、「研究題目、研究内容、研究の進捗状況、研究の進め方、今後の進展の見通し等から見て、博士論文として十分完成が見込まれること」が必要である。
2. 原則として論文提出の3ヶ月以前に、設計審査を受けて合格する。設計審査を受けるためには、単著またはファースト・オーサーの審査付き論文が1本以上あることが必要である。設計審査では、論文構成の全容を示す資料を提出し解説すること。設計審査に合格するためには、主査・副査予定者を含む心理学研究室スタッフ（教授会構成員）の過半数が、博士論文としてふさわしい論文になりうると判断することが必要である。
3. 設計審査を受けて合格した者は、指導教員を含む主査・副査予定者の指導のもと、論文を仕上げ提出する。